

12月は年間で最も事故が多い季節です。
 師走で忙しいですが、だからこそ余裕のある安全運転を！

スマートフォンでQRコードを読み込むと、DVDと同じ映像をインターネット経由でご覧いただけます。

この用紙は両面印刷でご使用ください。(表)



屋根の雪は下ろして走りましょう。



この映像の訴求ポイントは…

- ◎雪が落ちてくると一瞬のうちに視界はゼロに。
- ◎出発前に雪下ろしの一手間を。



類似の事故防止にあなたが重要と考えられることを書き出してみてください。



え' 'え' 'え' ~いっちゃんですか！



この映像の訴求ポイントは…

- ◎隣の車線が混雑していたら車列の間からの飛び出しを想定。
- ◎足の位置をアクセルペダルからブレーキペダルに移します。



類似の事故防止にあなたが重要と考えられることを書き出してみてください。



信号無視であわや正面衝突！



この映像の訴求ポイントは…

- ◎「来ないだろう」で信号無視。
- ◎今回は対向車ですが…カーブの先には何かがあるかも。



類似の事故防止にあなたが重要と考えられることを書き出してみてください。



あっ！ 危ない



この映像の訴求ポイントは…

- ◎子供は飛び出すもの。ガードレールがなければ飛び出してくる。
- ◎子供が見えたら、足をブレーキペダルに移す癖を付けよう。



類似の事故防止にあなたが重要と考えられることを書き出してみてください。



交差点直前の割り込み



この映像の訴求ポイントは…

- ◎車の運転での意地の張り合いは事故（不幸）の元です。
- ◎割り込みしてくる人には、よほど急ぐ理由があったのかも。



類似の事故防止にあなたが重要と考えられることを書き出してみてください。

【コラム】意外と多い駐車場での事故…重大な人身事故も

駐車場での事故が意外と多いことはご存知でしょうか？

損害保険会社の調査によると、車両事故の約3割が駐車場で起きているそうです。駐車場での事故で一番多いのは、駐車スペースへ車を停める際に、近くに停めてある車にぶつけてしまうケースですが、実は人が怪我を負う人身事故も少なくありません。とある調査機関の調べでは、四輪車との接触で歩行者が死傷した事故のうち、約15%は駐車場で起きた事故でした。

駐車場では、車は比較的ゆっくりとした速度で動いていますが、通常の道路とは違って車や人の動きが不規則なので、接触の危険が増えます。駐車車両が多く、死角を作っているうえ、駐車場への入場直後は、ドライバーが駐車スペースを探しながら運転していることもあり、どうしても歩行者への注意が散漫になってしまいます。

駐車場内での歩行者と四輪車の事故では、特に子供が重傷・死亡に至ることが多いそうです。速度が出ていない分、はね飛ばされずに車のそばで倒れてしまうことで、車に轢かれてしまう事例が多いからです。

このような駐車場内での事故を防ぐには、まずは車の側が周囲の安全確認を怠らない、すぐに停止できる速度で運転することが大切です。その上で、歩行者も駐車場内では、車から見えるように動くことが大切です。最近では、歩行者用の通路を路面標示している駐車場も多いので、そのような場所では、必ず通路を歩くようにしましょう。また、子連れの場合は、駐車場で保護者が子供の手を離さないようにすることも事故を防ぐ上で重要です。

